

J P C 奨学財団  
2023 年度奨学生募集要項

1. 趣 旨

当財団は、我が国の革新的な技術、学術の発展に寄与する人材、グローバルな視野をもった人材の育成を目的として、理工学を学ぶ資質優秀な学生に奨学援助を実施いたします。

2. 特 徴

この奨学金の特徴は、次のとおりです。

- (1) 奨学金は給付型とし、返還の義務はありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、進路を拘束するものではありません。

3. 応募資格

この奨学金の応募資格は、次のすべてに該当する者としてします。

- (1) 2023 年 4 月 1 日現在、関東地方の大学の理工系の学部又は研究科に所属する大学 1 年生及び大学院 1 年生（修士課程又は博士前期課程）であること
- (2) 日本国籍を有すること
- (3) 2023 年 4 月 1 日現在の年齢が 30 歳以下であること
- (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康であること

4. 採用人員

13 名程度

5. 奨学金の額と支給の方法

(1) 支給金額

月額 35,000 円

(2) 支給の期間

2023 年 4 月から、学部生は 4 年次修了時まで（最長で 2027 年 3 月までの 4 年間）、大学院生は 2 年次修了時まで（最長で 2025 年 3 月までの 2 年間）

(3) 支給の時期

初年度 4 月分から 6 月分は 7 月に 3 ヶ月分をまとめて支給します。その後は 3 ヶ月毎にまとめて支給します。

## 6. 奨学金の停止又は廃止

奨学生が次のいずれかに該当することとなったときは、奨学金の支給を停止又は廃止することがあります。

- (1) 傷病のため成業の見込みがなくなったとき
- (2) 学業成績\*又は性行が著しく不良になったとき  
\*学業成績の著しい不良とは、進学・進級するために必要な常識的な単位数を取らなかった場合のことをいう。
- (3) 休学、転学、退学又は転部したとき、又は1ヶ月以上の長期にわたって欠席するとき
- (4) 留年または卒業延期の恐れがあるとき
- (5) 外国へ留学しようとするとき（応相談）
- (6) 在学大学で処分を受けたとき
- (7) 奨学生として適当でない事実があったとき
- (8) 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- (9) 届出義務を怠ったとき
- (10) 当財団の事務局と長期にわたって連絡がとれないとき

## 7. 応募の手続

次の区分に応じた必要書類を所属大学及び氏名を記載した封筒に入れて、大学の奨学金担当窓口へ提出してください。原則として学生からの直接応募は一切受け付けません。

### (1) 大学1年生の場合

- ・奨学生願書・履歴書（所定の様式※1）
- ・住民票の写し（本人分とし・マイナンバー記載は不要）
- ・前課程の成績証明書（高校の調査書等で各教科の評定、出欠の記録が記載されたものに限る。）
- ・在学証明書
- ・高等学校長の推薦書（所定の様式※1）

### (2) 大学院1年生の場合

- ・奨学生願書・履歴書（所定の様式※1）
- ・住民票の写し（本人分とし・マイナンバー記載は不要）
- ・前課程のGPA学力基準証明書（GPAが記載されたもので、大学が発行する書類であること）及び標準化GPA計算書（所定の様式※1,2）
- ・在学証明書
- ・大学学長の推薦書（所定の様式※1）

※1 各所定様式は当財団ホームページからダウンロードすること

<https://www.netjpc.com/company/scholarship/index.html>

※2 GPAの制度がない大学の場合には、標準化GPA計算書のみ提出すること

## 8. 応募締切日

2023年5月18日（木）当財団事務局必着

## 9. 選考及び決定

- (1) 書類選考、面談（大学1年生のみ実施、2023年6月初旬を予定）、選考委員会の審査を経て、理事会で奨学生を決定します。
- (2) 選考結果については、大学に通知します。採用者には採用通知を送付いたします。（2023年6月下旬を予定）。

## 10. 奨学金受給にあたっての順守事項

奨学生に採用された方は以下の事項を順守することを義務とします。

- (1) 進級時又は卒業時に生活状況報告書及び前年の成績証明書を提出すること（原則として、当財団事務局へ持参していただきます。）
- (2) 下記に該当することとなった場合には、直ちに当財団事務局に届け出ること
  - ① 休学、転学、転部又は退学したとき、又は1ヶ月以上の長期にわたって欠席するとき
  - ② 留年又は卒業延期の恐れがあるとき
  - ③ 外国へ留学しようとするとき
  - ④ 在学大学で処分を受けたとき
  - ⑤ 奨学金を必要としない理由が生じたとき
  - ⑥ 住所、氏名、連絡先等の個人情報に変更があったとき

## 11. その他

- (1) 他団体等から奨学金を受ける場合であっても応募は可能ですが、選考にあたっては他の奨学金の受給状況を考慮します。また、併給を希望する場合、奨学金支給団体によっては併給を認めない場合があるので注意してください。
- (2) 応募書類の受付後、記載内容の確認等のため、事務局より電話連絡をさせていただく場合があります。また、応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。

以上

<資料送付先>

〒179-0081 東京都練馬区北町三丁目10番18号

公益財団法人 J P C 奨学財団 事務局 宛て

<https://www.netjpc.com/company/scholarship/index.html>

# 公益財団法人JPC奨学財団

## 2023年度奨学生 願書・履歴書

写真添付  
(3.5×4.5cm)

ふりがな		性別	生年月日			
氏名		男・女	年 月 日 (満 歳)			
E-Mail		(モバイル可)				
ふりがな				電話(自宅)		
現住所	〒			( ) - 携帯 - -		
ふりがな				電話(自宅・呼出)		
連絡先 (帰省先)	〒			( ) -		
ふりがな						
在学学校	大学	年	学部	学科		
	修士	年	研究科	専攻		
学歴 (高卒以上)	学校名・学部名	入学年月	卒業または中退年月	備考		
留学経験のある場合は留学先・国名と期間						
家庭状況	続柄	氏名	年齢	現在の職業	勤務先名	同居・別居
	父					同居・別居
	母					同居・別居
	※父母が死亡、生別の場合も上記氏名は記入し、その年月を記入すること					
						同居・別居
						同居・別居
						同居・別居

経済状況

収入源(前年1月～12月)	平均収入月額	摘 要		
(1)仕送り	円	仕送り者名:		
(2)アルバイト	円	職務内容:		
(3)奨学金	円	詳細は、下の受給歴に記載のこと。		
(4)配偶者、その他からの収入	円	内容:		
(1)～(4)の合計	円			
奨学金受給歴	奨学金月額	受給期間		奨学金の名称
	円	年 月～	年 月	
現在受給中 又は 応募中のもの	円	年 月～	年 月	
	円	年 月～	年 月	
住居費月額(食費は含めず)	円	同居・学生寮・アパート・その他		
授業料年額(2023年度)	円	全額免除・半額免除・一部免除・免除なし・審査中		

※授業料年額は、負担する金額を記載、審査中の場合は免除なしの金額を記載

奨学金志望の理由

将来希望する進路(又は卒業後の予定)

年 月 日

公益財団法人JPC奨学財団  
代表理事 小島 智敬 様

上記のとおり記載事項に相違ありません。

貴財団の奨学生として採用いただきたく関係書類を添えて出願致します。

また出願書類の個人情報を選考目的で関係者に開示されることに同意します。

本 人 氏 名

印

大学1年生

公益財団法人JPC奨学財団奨学生推薦書

氏名		生年月日	西暦
高校名			
高校 学 科	学科	年卒業	
推 薦 所 見			
推薦書作成者 職・氏名			
上記の者は、貴財団の奨学生として適当と認め、推薦します。			
年 月 日			
公益財団法人JPC奨学財団 代表理事 小島 智敬 様		高校名	職印
		校長	

※「推薦所見」欄は、なるべく高校3年次の担任又は直接指導された教員等が記入してください。

公益財団法人JPC奨学財団奨学生推薦書

氏名		生年月日	西暦
大学名			
大学院	課程	研究科	年次在学
学部	学部	学科	年次在学
推薦所見			
推薦書作成者 職・氏名			①
上記の者は、貴財団の奨学生として適当と認め、推薦します。			
年 月 日			
公益財団法人JPC奨学財団 代表理事 小島 智敬 様		大学名  学長・学部長	<div style="border: 1px dashed black; width: 80px; height: 50px; margin: 0 auto;">職印</div>

※「推薦所見」欄は、なるべく応募者を直接指導された教員等が記入してください。

## 標準化GPA計算書

年 月 日

大学:

学部:

学年:

氏名:

### 【記載方法】

- ①大学ごとに段階評価(5、4、3段階)が異なります。下記いずれかの対応する段階評価を選択します。
- ②大学ごとに評価評号が異なります。対応する取得単位数の枠(黄色のセル)に取得単位数(取得科目数ではなく単位数)の合計を入力して下さい。黄色のセル以外への入力是不可とします。取得単位数は入学からの現在までの通算で入力して下さい。(例:4単位の科目と2単位の科目がそれぞれ1つあった場合⇒4+2=6を入力)
- ③成績結果が合格のみで評価が無い場合は評価評号を「合※」「P」に記載して下さい。
- ④ご自身の成績表の取得単位数と下表の合計取得単位数(オレンジ色のセル)が一致することを確認して下さい。

### 《5段階評価の大学》

評価評号				Point	取得単位数	Quality Point
秀	AA	S	A	5		0
優	A	A	B	4		0
良	B	B	C	3		0
可	C	C	D	2		0
合	D	D	D	1		0
合※	P	P	P	0		0
合計				-	0	0
					GPA	#DIV/0!
					標準化GPA	#DIV/0!

### 《4段階評価の大学》

評価評号				Point	取得単位数	Quality Point
秀	AA	S	A	4		0
優	A	A	B	3		0
良	B	B	C	2		0
可	C	C	D	1		0
合※	P	P	P	0		0
合計				-	0	0
					GPA	#DIV/0!
					標準化GPA	#DIV/0!

### 《3段階評価の大学》

評価評号				Point	取得単位数	Quality Point
優	A	S	A	3		0
良	B	A	B	2		0
可	C	B	C	1		0
合※	P	P	P	0		0
合計				-	0	0
					GPA	#DIV/0!
					標準化GPA	#DIV/0!



# 家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	_____学群 _____学類 _____年次										
		_____課程			_____大学院			_____研究群			_____年次	
	学籍番号								性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL ( _____ )
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL ( _____ )	
氏名												
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称		給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年			万円	万円		
		母					年			万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期( 年 月) 理由( )										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期( 年 月) 理由( )										
別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別		通学別	控除額		
		本人			筑波大学	国立			※自宅 自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無	続柄( ) 氏名( ) 手帳番号( )						万円		
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額( 千円)				認 定					
	アルバイト		月額( 千円) 内容( )				総収入金額		① 万円			
	奨学金	受給中	月額( 千円) 団体名( )				必要経費		② 万円			
		申請中	月額( 千円) 団体名( )				特別控除額		③ 万円			
	その他の収入		月額( 千円) 内容( )				総所得金額		④=①-②-③ 万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人	
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤	万円	
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。  
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。  
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)  
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。  
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。